

東証一部：証券コード3992

株式会社ニーズウェル

2021年9月期 通期

決算説明資料

2021年11月11日



NeedsWell
Try & Innovation



1. 2021年9月期 通期決算概況



2. 2022年9月期 業績予想



3. 事業の成長戦略



4. 参考資料

1.1) 決算ハイライト①

10期連続増益・過去最高益を達成

通信、物流、ソリューションが好調で、コロナ禍の影響を克服

売上高

5,752 百万円 前期比 **+7.2** % **—**

経常利益

582 百万円 前期比 **+13.2** % **10.1** %

経常利益率

当期純利益

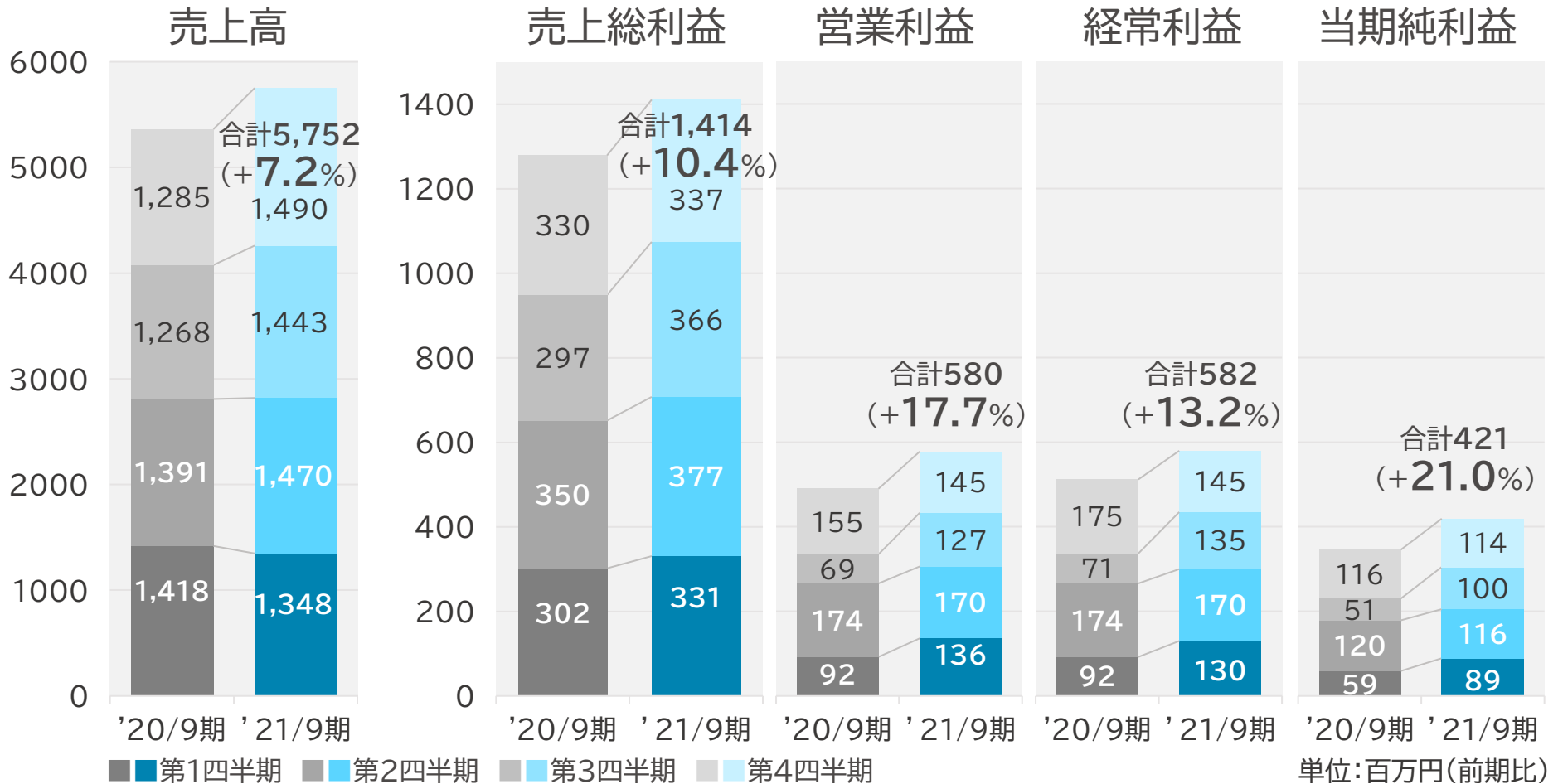
421 百万円 前期比 **+21.0** % **7.3** %

当期純利益率

1.1) 決算ハイライト②

売上
利益

第1四半期期間で足踏みしたものの、第2四半期以降、前年同期を上回る
第4四半期期間では優秀な人材確保のための賞与・教育費の増加、
コロナの助成金減少等により営業利益以下で前年同期を下回ったものの
累計期間ではいずれも2桁成長を確保



1. 2) 東証市場再編への対応

2022年4月の東証市場再編において、
当社はプライム市場の基準の充足に向けて中長期的に
施策を講じてまいります

※ 当社は現時点においてプライム市場の流通株式時価総額の基準を充たして
おりませんが、「上場維持基準への適合に向けた計画書」を開示し、
経過措置の適用を受けてプライム市場に移行します。

プライム市場移行基準適合状況
適合判定基準日: 2021年6月末日

流通株式数 適合

流通株式時価総額 不適合

流通株式比率 適合

売買代金 適合

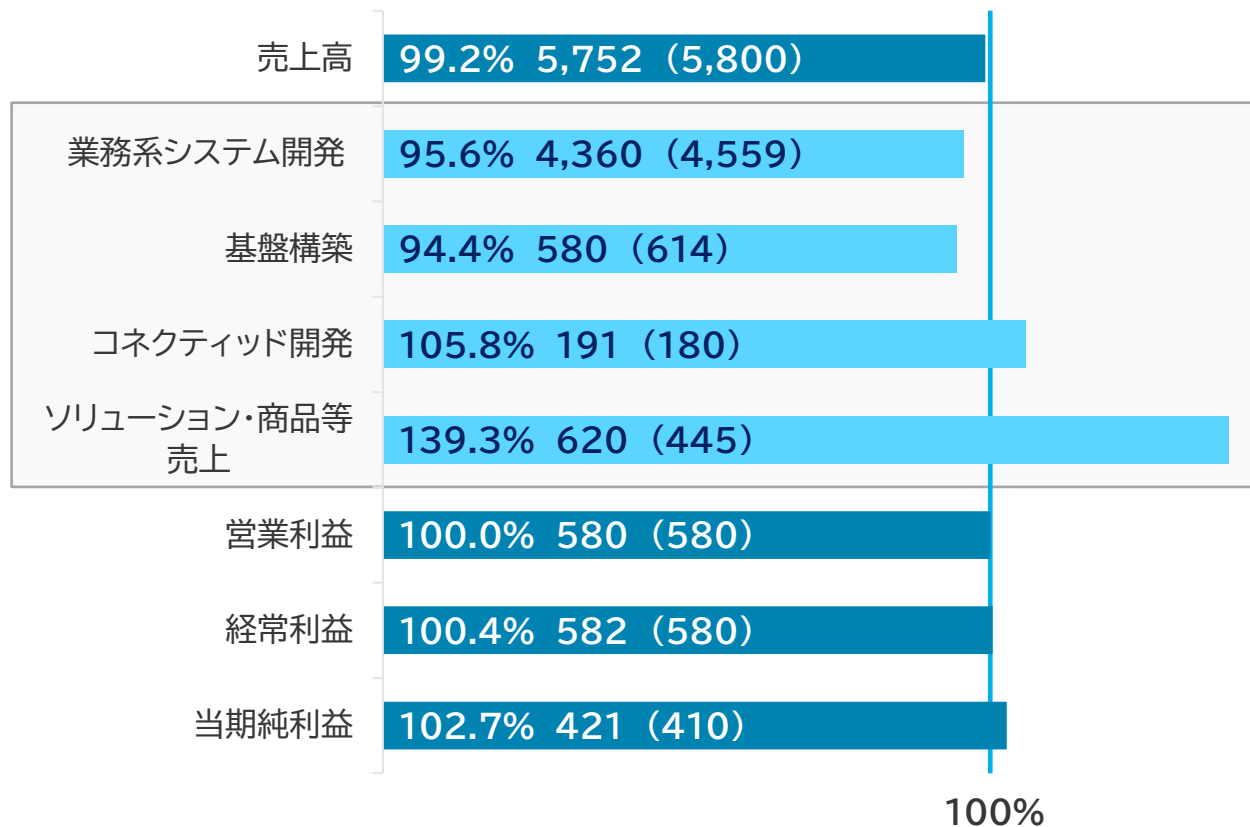
株主数 適合

- 企業価値向上により
時価総額を向上
- ①業績(中期経営計画の実現)
 - ②資本政策
 - ③IR・PR
 - ④サステナビリティ

1.3) 業績達成率

業務系システム開発の通信、物流関連と 高付加価値案件の多いソリューション・商品等売上が好調

業績達成率, 売上実績, (計画)



業務系システム開発
携帯電話の料金改定に伴うシステム開発やペーパーレス対応、強化傾向が続くECサイトの改修等、通信向けが好調。物流も増加。

基盤構築
ECサイトや官公庁向け案件の基盤増強の需要を取り込み、安定して開発を継続。

コネクティッド開発
新型コロナウイルス感染症の影響は残るものの、安定して開発を継続。

ソリューション・商品等売上
経費管理クラウド向けの独自ソリューション Speed EA、Invoice PAや、RPAが好調。企業のDXを支援するITリエンジニアリング、業種別AIソリューションWork AIに注力。

業績達成率は業績の上方修正後の数値で算出しています。

【参考資料】2021年6月21日「業績予想の上方修正のお知らせ」

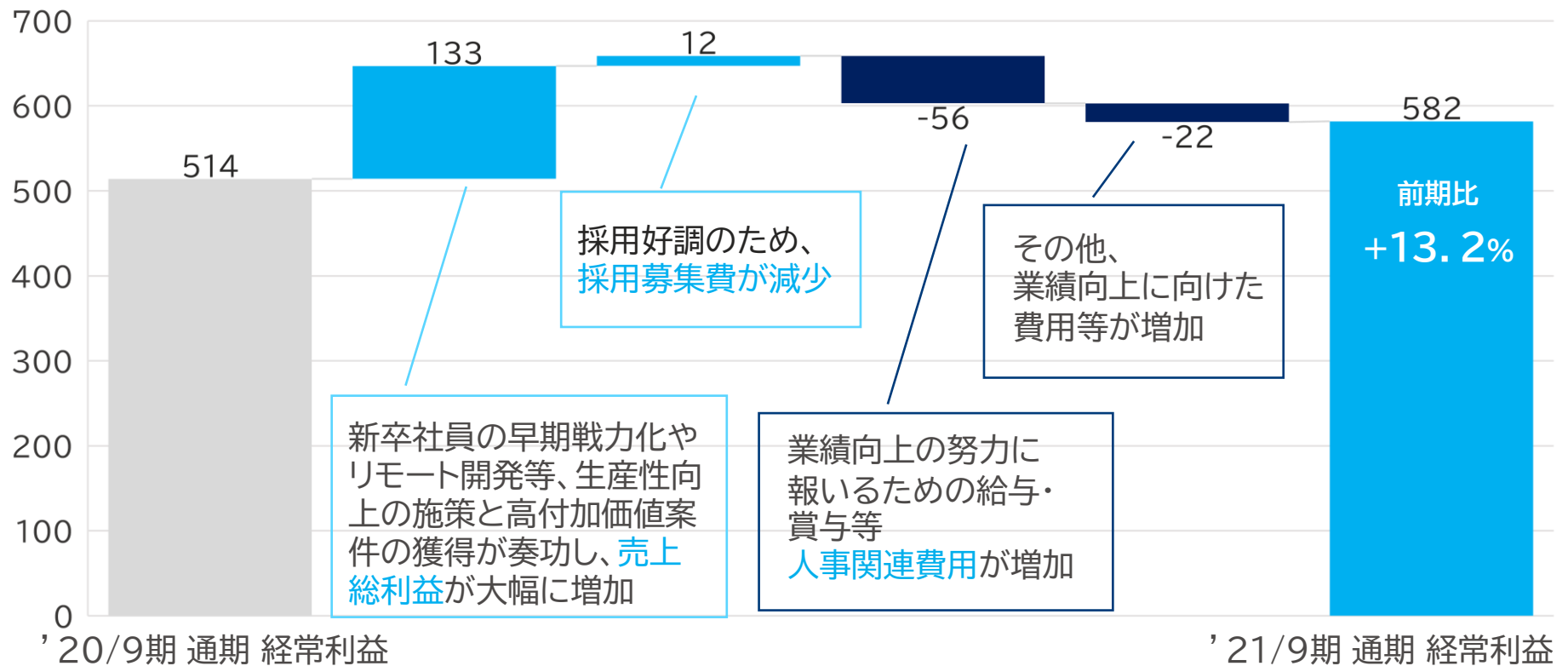
2021年6月24日「(訂正・数値データ訂正)「業績予想の上方修正に関するお知らせ」の一部訂正について」

1.4) 経常利益(累計)増減要因分析

生産性向上と高付加価値案件獲得により
売上総利益 前期比 10.4%増が大きく貢献


経常利益は 前年同期比 **13.2%増**で着地 **↑**

■ 増加要因 ■ 減少要因 単位:百万円



1.5) 損益計算書(累計)

経常利益率は**10.1%**(前年同期比**0.5pts増**)と高水準

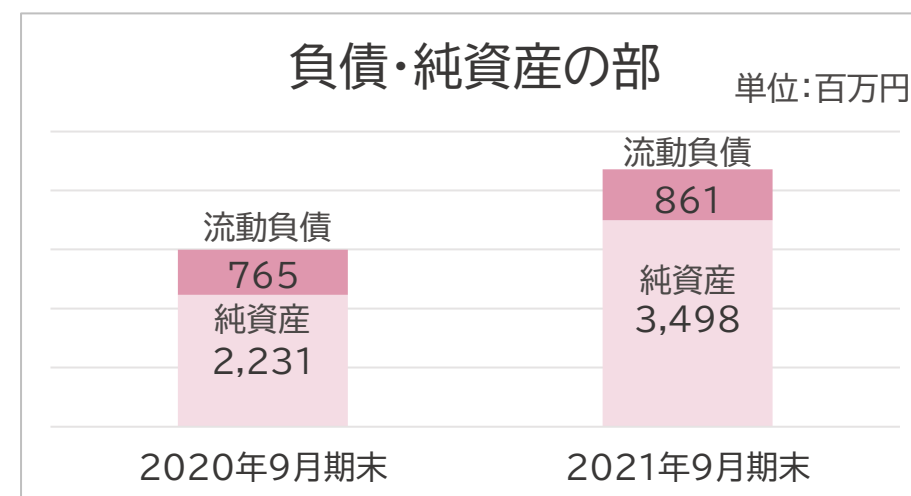
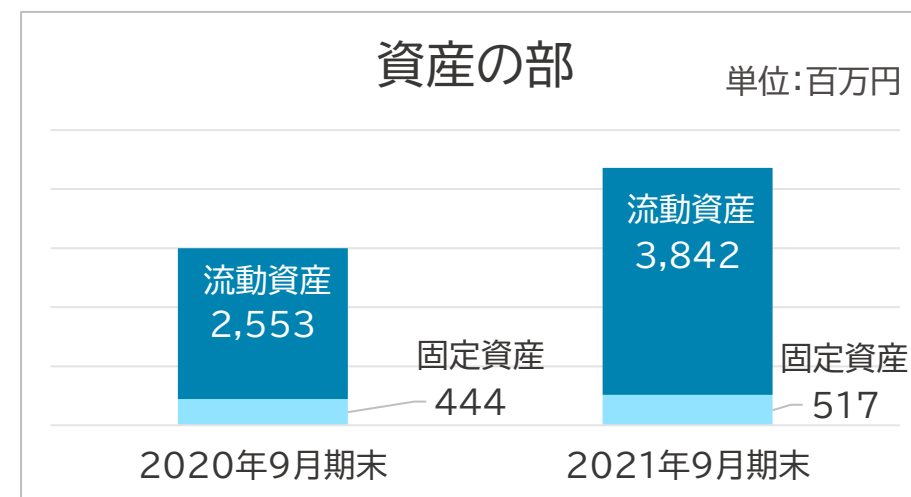
単位:百万円	2020年9月期 通期		2021年9月期 通期		
	実績	売上比	実績	売上比	前年比
売上高	5,364	-	5,752	-	107.2%
業務系システム開発	※	※	4,360	75.8%	※
基盤構築	※	※	580	10.1%	※
コネクティッド開発	※	※	191	3.3%	※
ソリューション・商品等	※	※	620	10.8%	※
売上総利益	1,280	23.9%	1,414	24.6%	110.4%
販管費	787	14.7%	833	14.5%	105.8%
一時的費用(先行投資)	24	0.5%	0	0.0%	0.0%
その他	763	14.2%	833	14.5%	109.3%
営業利益	492	9.2%	580	10.1%	117.7%
営業外収益	21	0.4%	12	0.2%	58.7%
営業外費用	0	0.0%	10	0.2%	6114.5%
経常利益	514	9.6%	582	 10.1%	113.2%
当期純利益	347	6.5%	421	7.3%	121.0%

※ 当事業年度よりサービスラインを見直し再編成したため、前年同期との比較は行っておりません。

1.6) 貸借対照表

※主要科目のみ抜粋 単位:百万円	2020年9月期末	2021年9月期末	
	実績	実績	前期末増減
現金及び預金	1,780	2,868	1,088
売掛金	689	938	248
前払費用	34	25	-8
流動資産合計	2,553	3,842	1,289
資産の部			
ソフトウェア	58	82	23
投資有価証券	83	114	31
繰延税金資産	97	118	21
敷金・保証金	85	83	-1
保険積立金	76	76	0
固定資産合計	444	517	73
資産合計	2,997	4,360	1,362
負債の部			
買掛金	101	143	41
未払金	137	149	11
未払法人税等	107	124	16
未払消費税	106	91	-14
賞与引当金	265	302	37
流動負債合計	765	861	95
固定負債合計	0	0	0
負債合計	765	861	95
資本の部			
資本金	415	907	492
資本準備金	271	763	492
利益剰余金	1,522	1,807	285
その他有価証券評価差額金	22	20	-2
純資産合計	2,231	3,498	1,266
負債純資産合計	2,997	4,360	1,362

自己資本比率 **80.2%** 前年比+5.8pts
引き続き高水準で安定





1. 2021年9月期 通期決算概況



2. 2022年9月期 業績予想



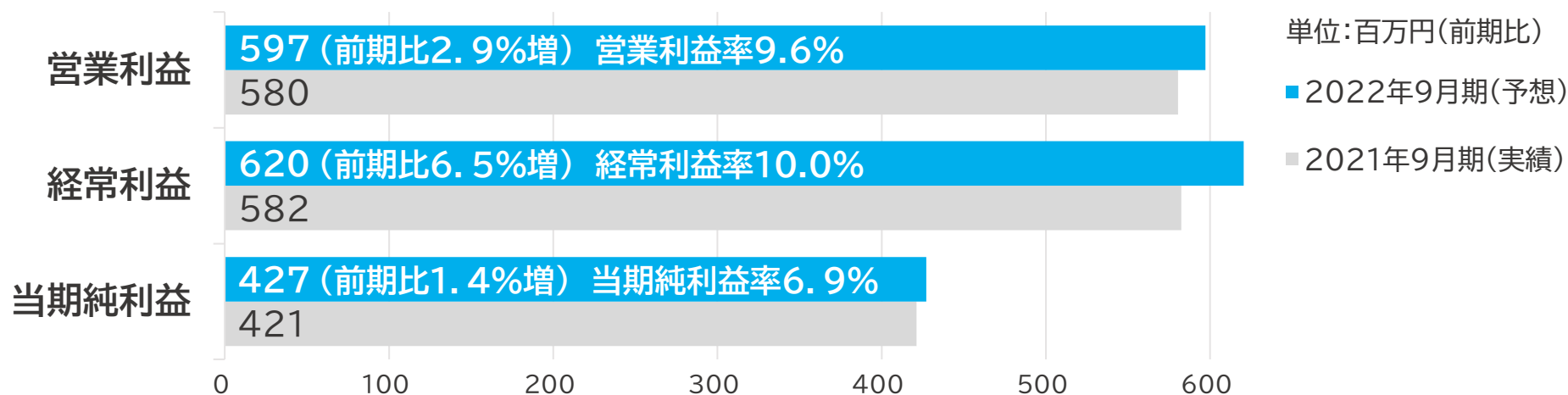
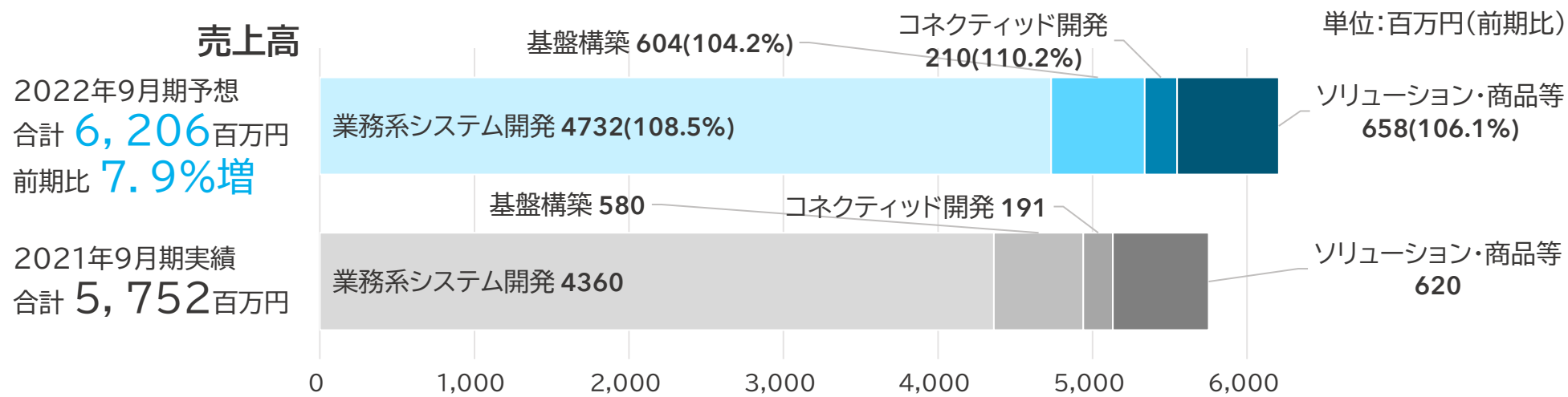
3. 事業の成長戦略



4. 参考資料

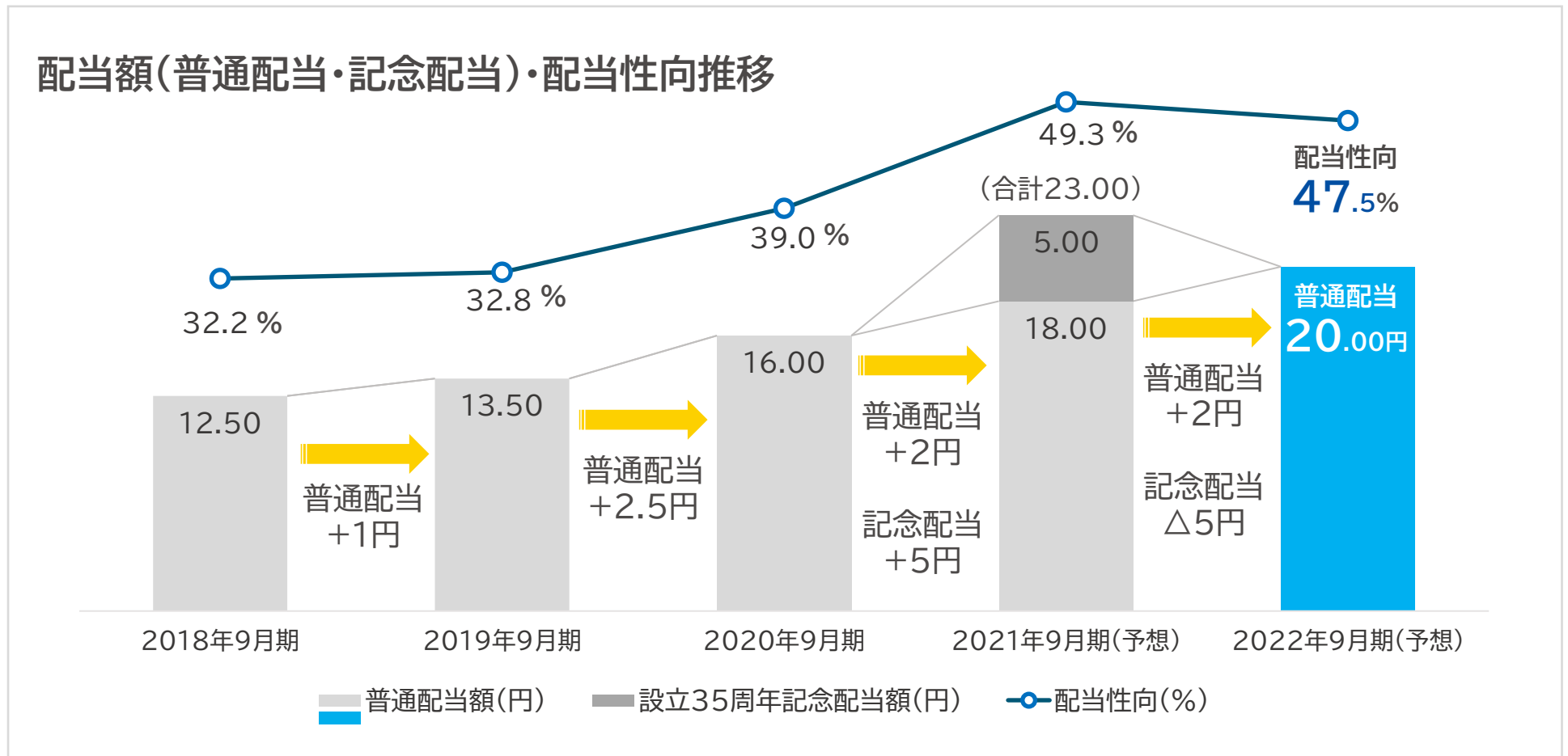
2.1) 2022年9月期 業績予想

新卒社員の早期戦力化による生産性向上と、高付加価値案件の獲得で
2期連続増収 & 11期連続増益予想



2.2) 配当と株主還元

2022年9月期 1株当たり配当金 **20円00銭/株**
普通配当ベースでは**2円増配** **4期連続増配**予定



- ※ 2021年9月期は設立35周年を記念し、18円00銭の普通配当に加えて、5円00銭の記念配当を行う予定です。
- ※ 2017年5月12日付で1株につき100株の割合で株式分割、2018年4月1日付で1株につき2株の割合で株式分割、2019年1月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。過去の1株当たり年間配当額は、当該株式分割を考慮して算出しております。



1. 2021年9月期 通期決算概況



2. 2022年9月期 業績予想



3. 事業の成長戦略



4. 参考資料

3.1) 経営理念・経営スローガン

経営理念

広く経済社会に貢献し続ける

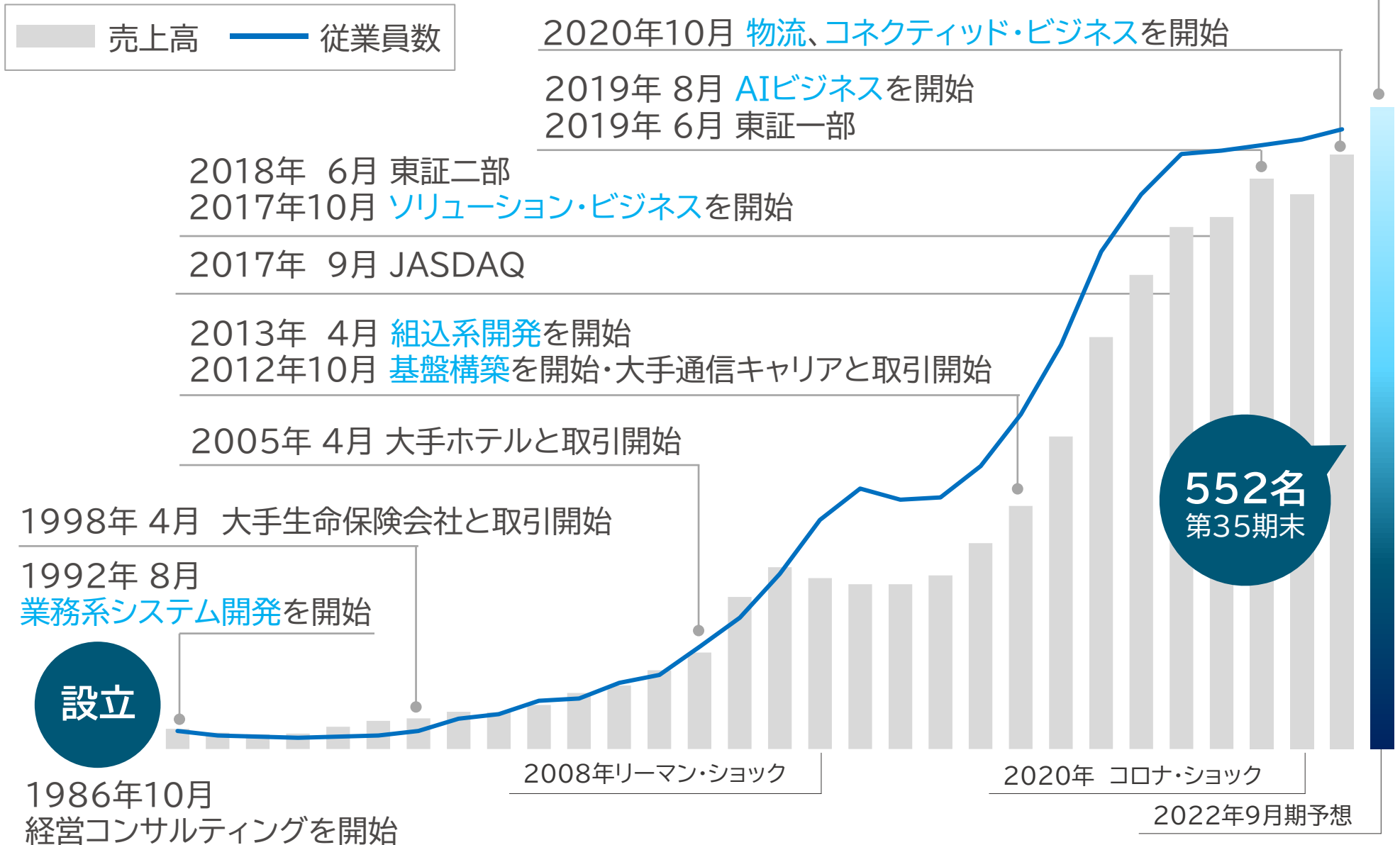
経営スローガン

Try & Innovation

常に進化するニーズウェルは挑戦と革新を掲げ
広く経済社会に貢献し続けます



3.2) 成長の軌跡



3.3) 中期基本方針

派遣型ビジネスからの脱却、

そして**真のシステムインテグレータ**へ

3.4) 3つの強み

金融系システム 開発力

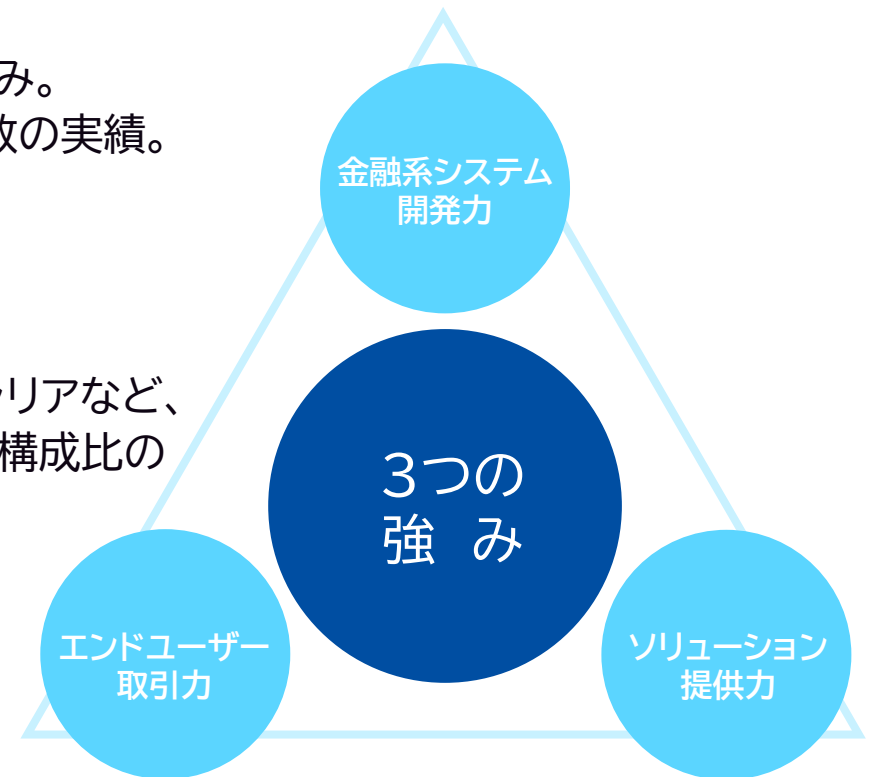
主力の業務系システム開発では金融系が売上高の約50%。
中でも**生命保険・損害保険分野**に強み。
銀行・クレジットカード・証券でも多数の実績。

エンドユーザー 取引力

生命保険会社・大手ホテル・通信キャリアなど、
エンドユーザーとの直接取引が売上構成比の**50%超**と高水準。

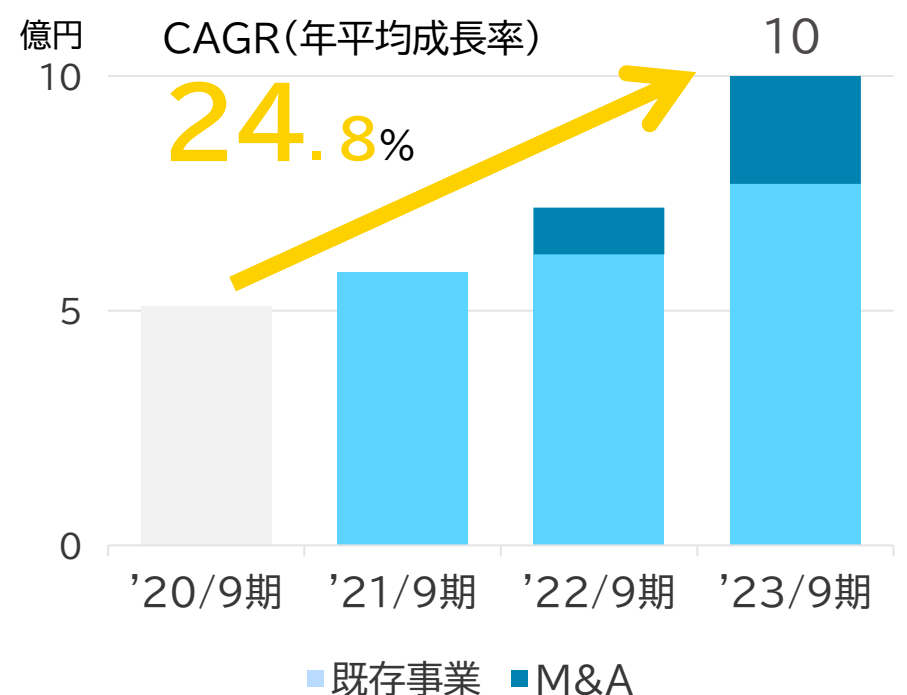
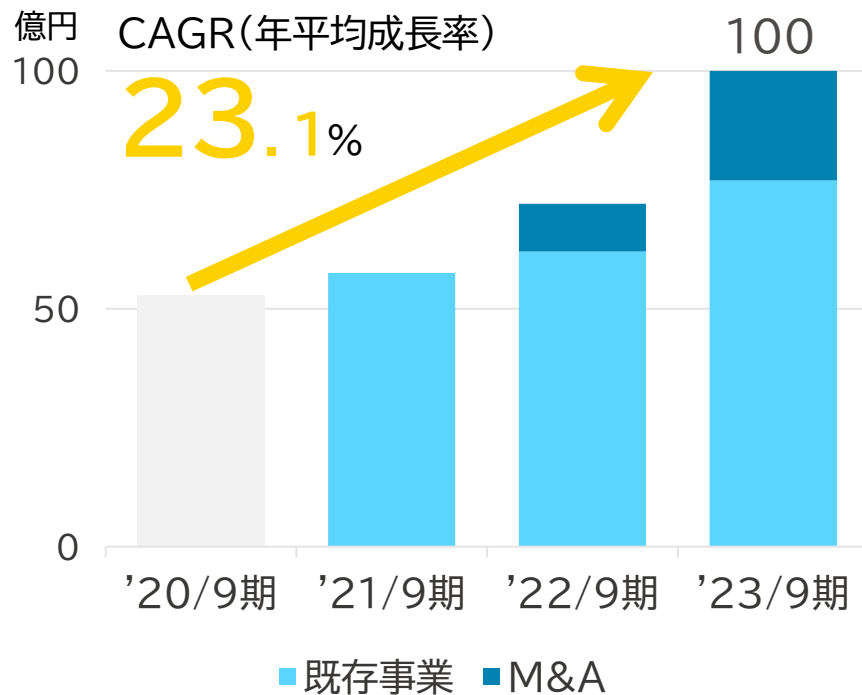
ソリューション 提供力

5G関連、AI、RPA、テレワーク
など、顧客のビジネスの目的に
合わせた最適なソリューションサービスを提供。



3.5) 中期経営計画 ①業績目標

2023年9月期



3.5) 中期経営計画 ②売上拡大

市場規模(当社予測)

物流IoTソフトソリューション市場
(WMS等)
2023年 1,030億円
↑
2020年 800億円

スマートシティ市場
2023年 1兆2,000億円
↑
2020年 6,800億円

AI主要市場 (画像認識、音声認識、音声合成、言語解析、検索・探索、翻訳)
2023年 640億円
↑
2020年 320億円

物流ビジネス

多様化するニーズが高まる一方、担い手不足が深刻な物流業界。AIやIoTを活用した合理化・高品質化・環境負荷低減が急務で投資需要高い。

コネクティッド・ビジネス

IoTやAIの活用で街全体を効率化し便利に住みやすくするスマートシティ等、生活を豊かにするコネクティッド技術にも取り組む。

ソリューション・ビジネス

DXへの構造改革で投資需要高い。AI、RPAを活用した連携機能等で独自に差別化した製品を投入。

M&A、資本業務提携

既存技術の規模拡大と、新規技術の補強・参入。物流、コネクティッド、AI、IoT、Web等を重点的に探索

+12億円

+3億円

+9億円

+23億円

既存事業

24億円

M & A 等

23億円

100億円

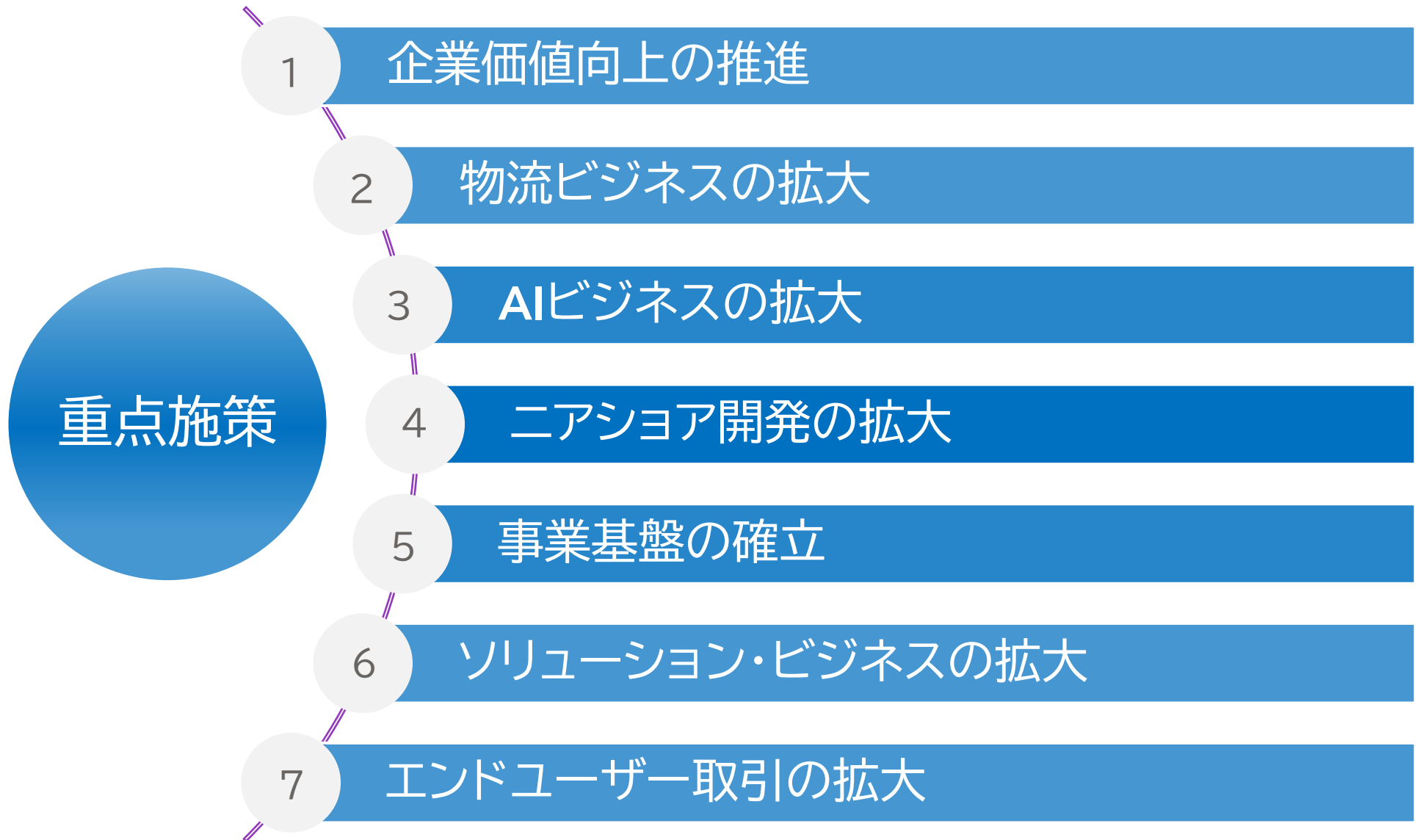
2023年
9月期

売上拡大

+47億円

53億円
2020年
9月期

3.6) 重点施策



3.6) 重点施策 ①企業価値向上の推進

NeedsWell Valueの向上により
経営理念「広く経済社会に貢献し続ける」を推進

- ・機関投資家対応
- ・個人投資家対応
- ・メディア対応
- ・CI、VIの推進

IR・PR

CI: Corporate Identity
VI: Visual Identity

業績

- ・売上高成長率20% 経常利益率10%
- ・売上総利益率25% 販管费率10%
- ・2023年9月期 売上高100億円
- ・2023年9月期 流通株式時価総額100億円
- ・EPS60円 PER30倍
- ・M&A、資本業務提携



資本政策

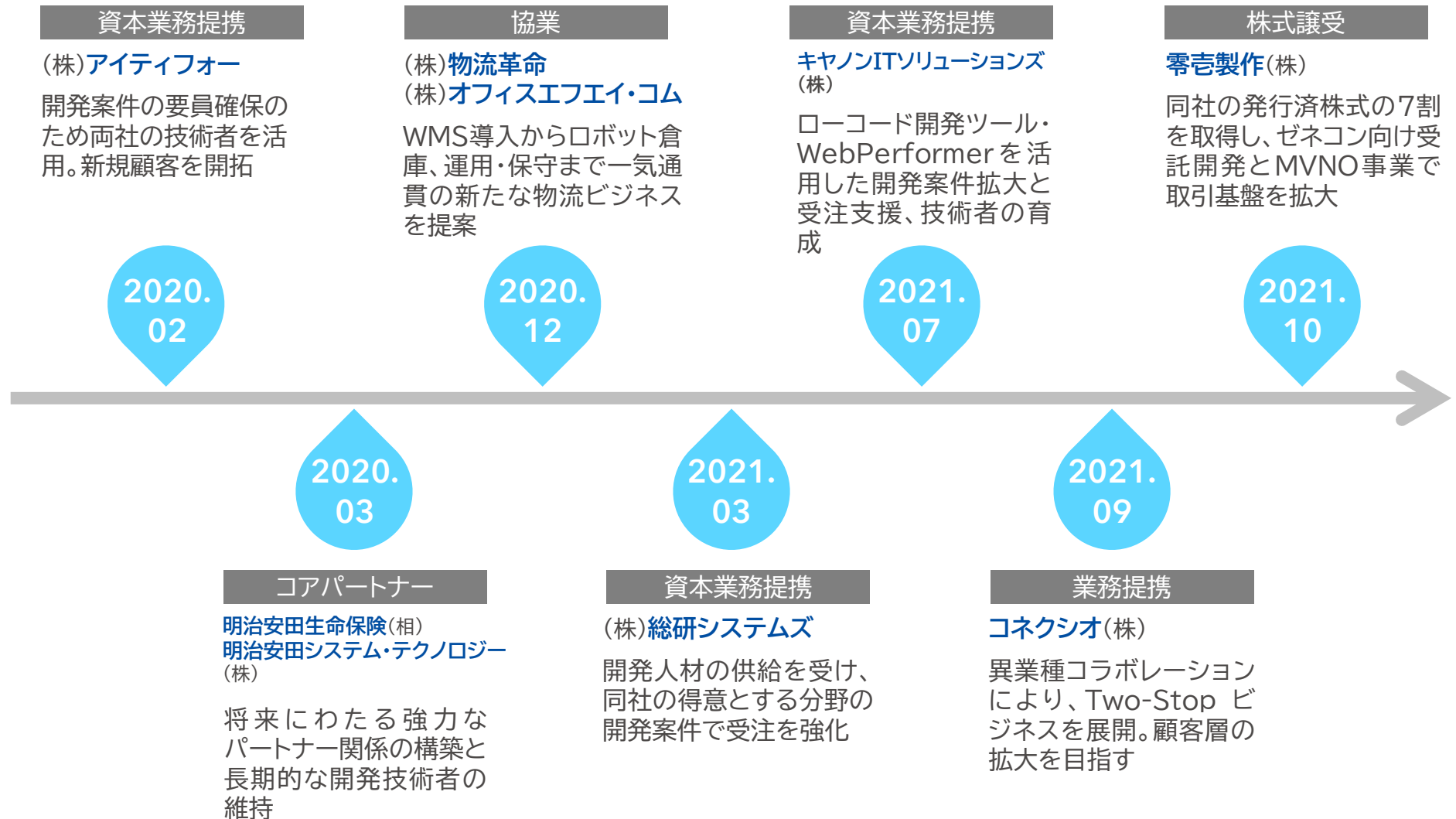
- ・M&A
- ・資本提携

サステナビリティ

- ・ESG、SDGs
- ・コーポレート
ガバナンス

3.6) 重点施策 ①企業価値向上の推進 ii

M&A、資本業務提携等、協業関係の構築を積極的に推進



3.6) 重点施策 ②物流ビジネスの拡大

ネット社会によりニーズが高まり、担い手不足が深刻
→システム開発需要が増加



(開発元: ニーズウェル 2021年8月提供開始)が **3**つのスマートを実現

省人化・ペーパーレス化

- ハンディーターミナルの活用により、現場のオペレーションを改善
- 倉庫内の一連の作業をペーパーレス化

課題を見える化

- 高度な分析機能で生産性を向上
- 倉庫内の人員配置を最適化



シンプル設計で迅速

- 倉庫管理に必要な十分な機能に絞ったシンプル設計。
- 迅速かつ安価に提供
 - 入出庫、在庫管理
 - 棚卸管理
 - 帳票・ラベル発行
 - データ分析機能



WMS導入からロボット倉庫、運用・保守まで

(株)物流革命、(株)オフィスエフエイ・コムとの協業で迅速対応

3.6) 重点施策 ③AIビジネスの拡大

Work AIのラインナップ拡充によりAIビジネスを拡大

※ Work AIは、当社がAIやRPA等のノウハウを活用し企業のDXを支援するために開発する
業種別AIソリューションの総称です

		<h4>AIリモート教育</h4> <p>ビジネスシーンのトークを数値やグラフで定量的に見える化。 成績上位者のモデルと比較してAIが改善点をフィードバック。</p>
	<p>実証実験中</p>	<h4>部材の概算見積りをAIが自動化</h4> <p>建設業界の部材の概算見積りの自動化と精度向上をめざしています。</p>

さまざまな業種のDXを推進



3.6) 重点施策 ④ニアショア開発の拡大

2024年9月期 長崎開発センター100名体制をめざす

ニアショア拠点の活用で優秀な人材の獲得と人材不足の解消

ニアショア活用

- ・ 持ち帰り案件によりニアショア開発体制を拡大
- ・ 派遣型・常駐型からの移行を進めニアショア開発を標準化

人材獲得

- ・ 地元志向の強い優秀な技術者を採用し育成
 - ・ 地元大学からの採用
 - ・ Uターン、Iターン採用



3.6) 重点施策 ⑤事業基盤の確立

上場企業として
将来まで安定した発展を遂げる事業基盤を確立

業務系システム開発

- ・ 業務知識の蓄積とハイスキルの技術者の育成により、金融分野を拡大
- ・ 新たに物流分野を開拓

基盤構築

- ・ 業務系システム開発と連携しトータル受注

コネクティッド開発

- ・ 自動車、医療機器分野に加えコネクティッド技術を強化

▶▶▶ サービスライン構成

事業基盤を確立する
サービスライン

業務系システム開発

基盤構築

コネクティッド開発

+

事業拡大・付加価値向上を
加速するサービスライン

ソリューション・
商品等売上

3.6) 重点施策 ⑥ソリューションビジネスの拡大

事業拡大・付加価値向上を加速する ソリューション・ビジネスを拡大

売上高構成比目標 2023年9月期 **15.0%** (2021年9月期実績10.8%)


拡大戦略

✓ 自社ソリューション  **ITリエンジニアリング** を中核とし、DXを提供

社内システムの運用改善コンサルティング
ERPを中心に、**周辺システムを連携**

- 紙の電子化、ペーパーレス化
- データ連携で転記ミス・二重入力を防止
- RPA活用で人手によるデータ入力を削減



✓ 2025年の崖問題を支援する  **2025 Solutions** を提供

✓ RPAツール × ビジネスチャットツール連携ソリューションを提供予定(2022年1月)

AIチャットボットでユーザーの問い合わせを受け付け、ユーザーの要望する処理・動作をRPAで起動

3.6) 重点施策 ⑦エンドユーザー取引の拡大

受注安定化と収益性向上

エンドユーザー比率**50%超**を維持拡大

既存ユーザーの維持拡大

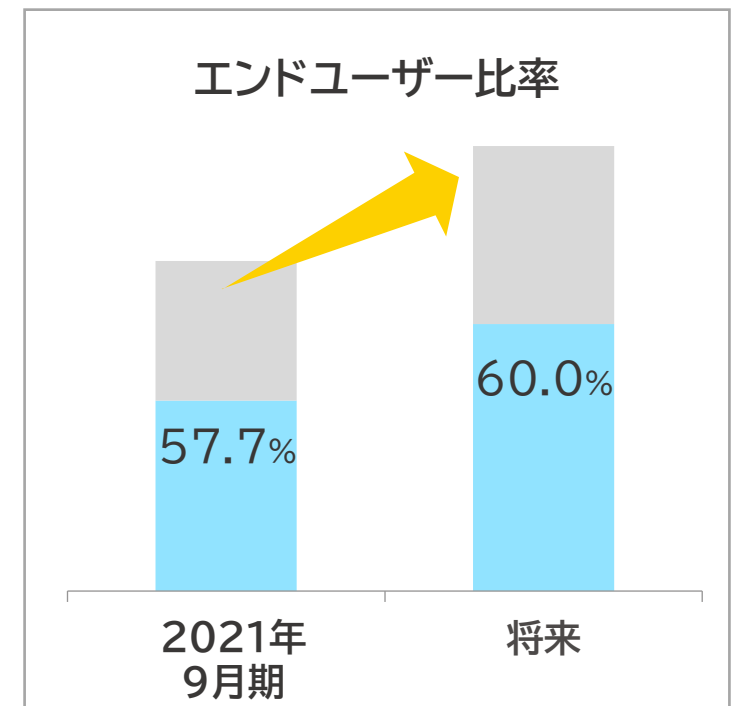
- ・ 継続案件の確保
- ・ ハイスキルの技術者を育成し担当分野の規模を拡大
- ・ 担当分野以外の開拓

新規ユーザーの開拓

- ・ 既存ユーザーと類似する会社へ開発実績、業務ノウハウを紹介し横展開

ソリューション・ビジネスの拡大

- ・ エンドユーザーへの販売比率が高いソリューション・ビジネスに注力



3.7) ESG・SDGs ①事業と直結する取組み

ESG・SDGsの視点を取り入れた事業戦略で**サステナブル経営**をめざす

ニアショア開発促進:長崎開発センターを2024年までに100名体制に

～ニアショアを活用したリモート開発体制でQCD(Quality:品質、Cost:費用、Delivery:納期)にコミットメントし、開発を促進

2024年までに長崎開発センター100人体制を目指す
地方の優秀な人材の活用で**産業基盤と技術革新、雇用の創出による豊かな街づくり**に貢献



DXをアシストする新たなソリューションの開発

ITリエンジニアリングサービスは、RPA連携で実現する作業の省力化、AI技術を利用したプラットフォームの構築、データ分析等、顧客企業のDXの実現・推進をアシスト
デジタル社会の産業基盤の構築に貢献

パートナーシップの推進による事業成長

グループ企業、受注先・仕入先企業とのパートナーシップを推し進め、ともに永く発展できる体制をめざす

- 2020年02月: **株式会社アイティフォー**と資本業務提携契約を締結
- 2020年03月: **明治安田生命保険相互会社、明治安田システム・テクノロジー株式会社**とコアパートナー契約を締結
- 2020年12月: **株式会社物流革命、株式会社オフィスエフエイ・コム**と物流分野で協業を開始
- 2021年03月: **株式会社総研システムズ**と資本業務提携契約を締結
- 2021年07月: **キャノンITソリューションズ株式会社**と資本業務提携契約を締結
- 2021年09月: **コネクシオ株式会社**と業務提携契約を締結
- 2021年10月: **零壹製作株式会社**の発行済み株式の7割を取得



3.7) ESG・SDGs ②制度や支援活動から支える取組み

働き方改革・人材育成

- ・有給取得奨励日、プレミアムフライデー、残業目標20時間以内
- ・テレワークの対象者を拡大
- ・スキルやモチベーションを引き出す制度

女性社員・管理職比率向上

女性管理職比率目標30%、女性社員比率目標30%

学生向けAI教育

学生向けにAIプログラミング体験や、5日間・3週間のインターンシップを開催
電子申請アプリやAIチャットボットのプログラミング教育を実施(2020年)

長崎県ふるさと納税

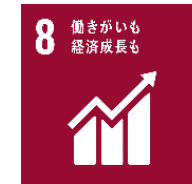
長崎県立大学において産学連携の拠点を整備し高度専門人材の育成と県内産業の振興をめざす「Society5.0へ向けた次世代人材創造プロジェクト」(企業版ふるさと納税制度)を支援

サッカーJリーグ V・ファーレン長崎を応援

スポーツ文化の振興、地域の活性化を目指しサポーターとしてスポンサー契約

その他の取組みや詳細はこちらからご覧いただけます。

<https://www.needswell.com/ir/sdgs>





1. 2021年9月期 通期決算概況



2. 2022年9月期 業績予想



3. 事業の成長戦略



4. 参考資料

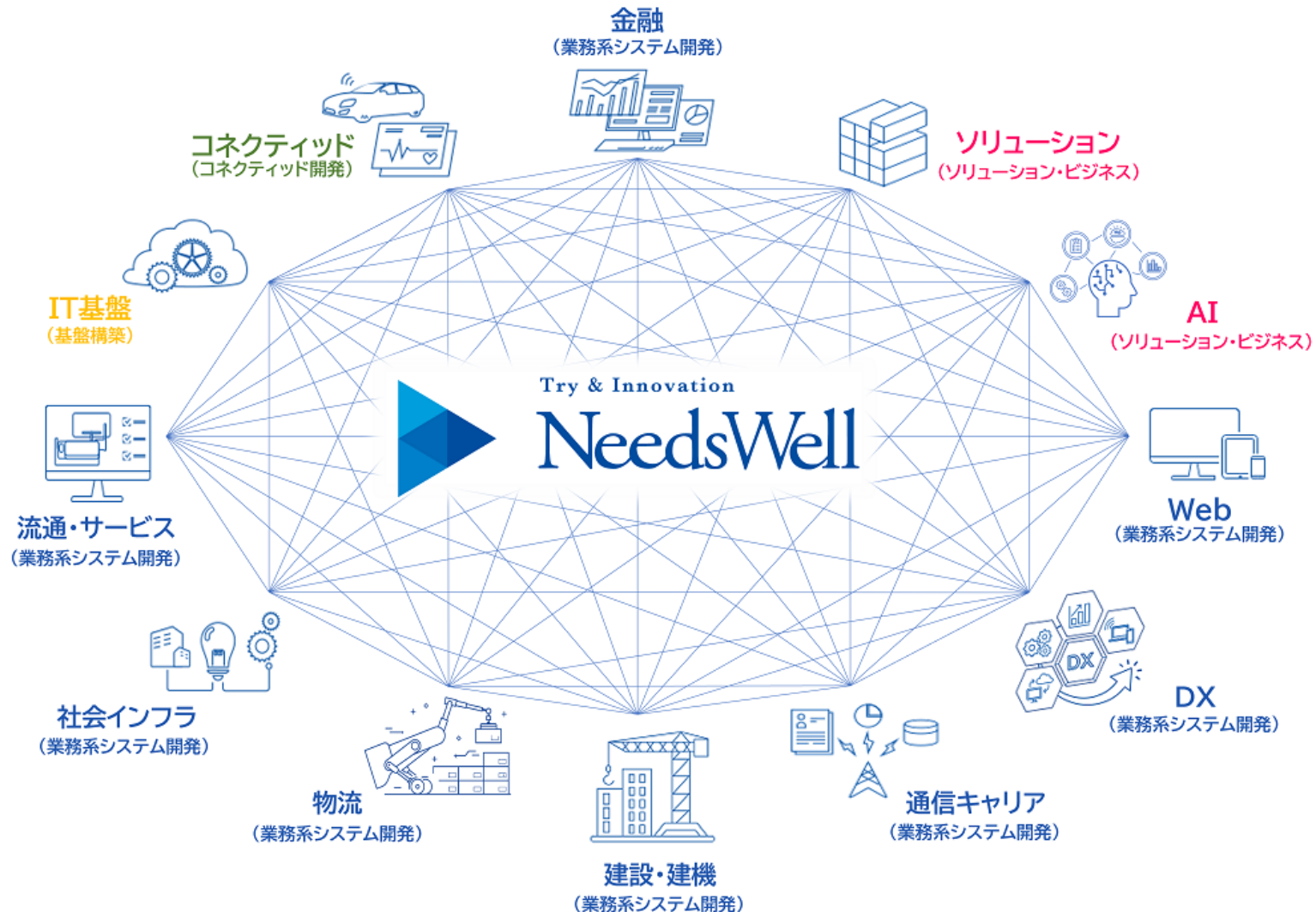
4.1) 会社概要

2021年9月末日現在

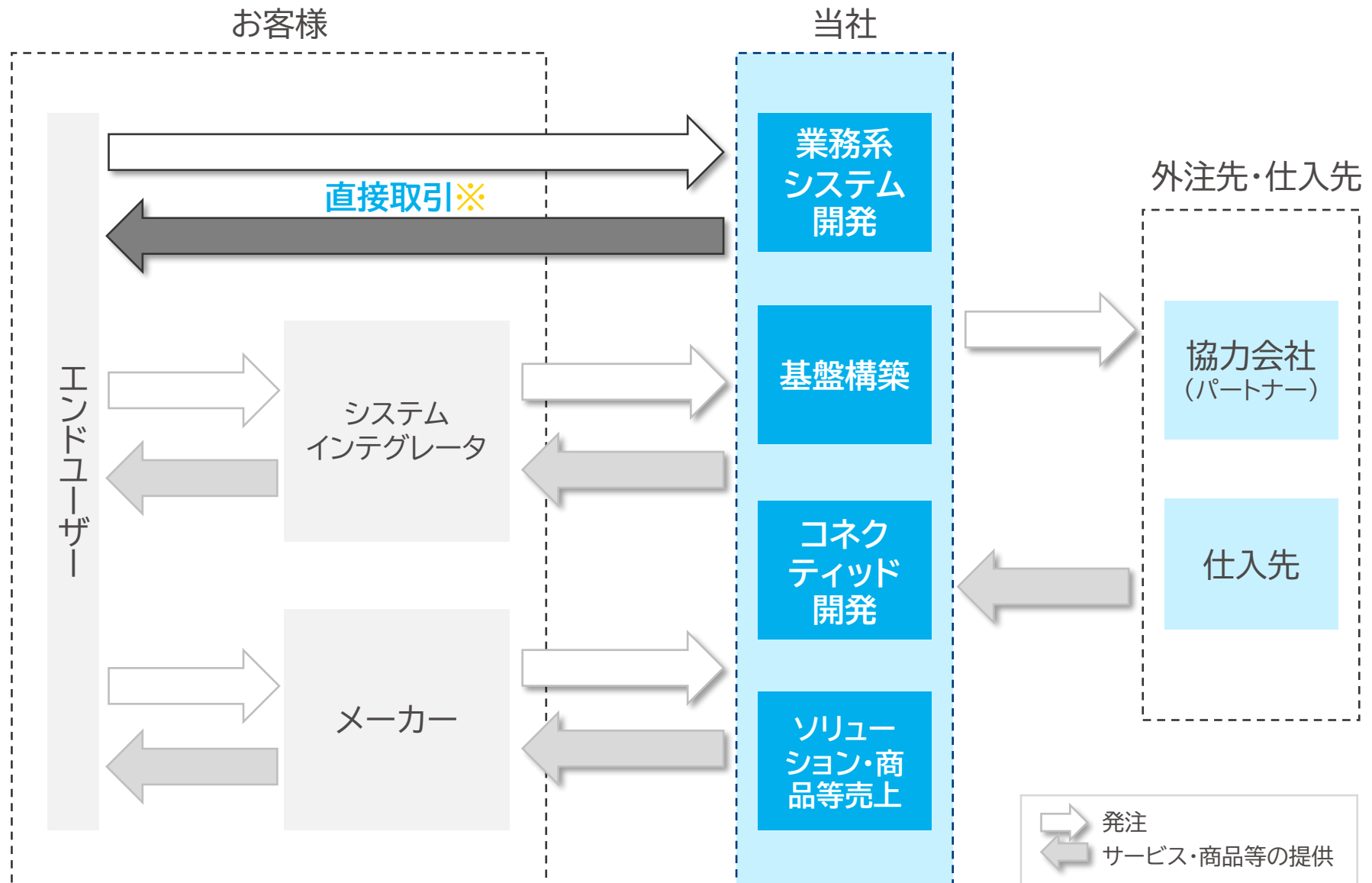
商号	株式会社ニーズウェル Needs Well Inc.												
本社	東京都千代田区紀尾井町4番1号 ニューオータニガーデンコート13階												
事業所	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新宿オフィス: 東京都新宿区富久町13-15 サウスタワー5階 ■ 長崎オフィス: 長崎県長崎市興善町2-21 明治安田生命長崎興善町ビル5階 												
連絡先	TEL:03-6265-6763(代) FAX:03-6265-6764												
代表者	代表取締役社長 船津 浩三												
設立年月	1986年10月	上場市場	東証一部(証券コード:3992)										
資本金	9億7百万円	売上高	57億52百万円										
従業員数	552名	決算期	9月										
資格	労働者派遣事業 プライバシーマーク使用許諾認定	ISO27001(ISMS)認証 ISO9001(QMS)認証											
役員	代表取締役社長 船津 浩三 取締役専務執行役員 後藤 伸応 取締役常務執行役員 塚田 剛 取締役執行役員 木村ひろみ 取締役執行役員 秋山 恵穂 取締役執行役員 篠原 和広	取締役 柳川 洋輝 取締役 坂上 秀昭 監査役 加藤 和彦 監査役 丹羽厚太郎 監査役 安岡 護	<table border="1"> <tr> <td>社外</td> <td>独立</td> </tr> <tr> <td>社外</td> <td>独立</td> </tr> <tr> <td>社外</td> <td>独立</td> </tr> <tr> <td>社外</td> <td>独立</td> </tr> <tr> <td>社外</td> <td>独立</td> </tr> </table>	社外	独立	社外	独立	社外	独立	社外	独立	社外	独立
社外	独立												
社外	独立												
社外	独立												
社外	独立												
社外	独立												

4.2) 事業領域

ニーズウェルは**金融**向けの**業務系システム開発**を中心とした4つのサービスで、ITのトータルサービスを提供しています。



4.3) 事業系統図



※エンドユーザーとの直接取引 は売上全体の 約57% と高水準

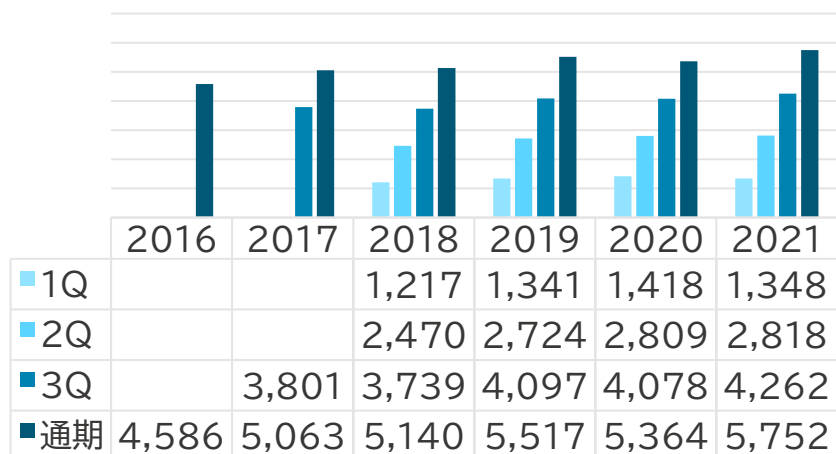
4.4) 主なプレスリリース

日付	種類	
2021/11/11	決算	2021年9月期通期 決算短信・決算説明資料
2021/10/14	適時開示	プライム市場選択申請書及び計画書提出のお知らせ
2021/10/08	PR情報	ニーズウェル、電子契約を導入し社内業務を一段と効率化
2021/10/06	PR情報	東京ファブリック工業株式会社様から部材の概算見積りをAIにより自動化する実証実験を受注
2021/10/01	PR情報	ニーズウェルは設立35周年を迎えました
2021/10/01	PR情報	零壹製作株式会社の役員人事に関するお知らせ
2021/09/28	PR情報	零壹製作株式会社の株式取得(子会社化)に関するお知らせ
2021/09/24	適時開示	第5回新株予約権(行使価額修正条項付新株予約権(停止指定条項付))の大量行使、行使の完了及び月間行使状況に関するお知らせ
2021/09/15	PR情報	コネクシオ株式会社との業務提携のお知らせ
2021/09/15	PR情報	人事異動に関するお知らせ
2021/09/13	適時開示	第三者割当による第5回新株予約権(行使価額修正条項付新株予約権(停止指定条項付))の大量行使に関するお知らせ
2021/09/01	適時開示	第三者割当による第5回新株予約権(行使価額修正条項付新株予約権(停止指定条項付))の月間行使状況に関するお知らせ
2021/08/25	PR情報	SAP CONCUR FUSION EXCHANGE 2021 JAPANセッション登壇のお知らせ
2021/08/24	適時開示	第三者割当による第5回新株予約権(行使価額修正条項付新株予約権(停止指定条項付))の大量行使に関するお知らせ
2021/08/18	PR情報	人事異動に関するお知らせ

4.5) 業績推移①

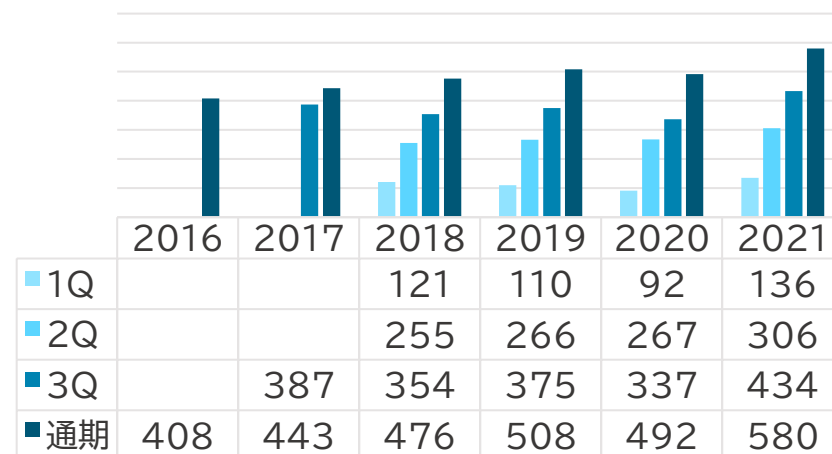
売上高

単位:百万円



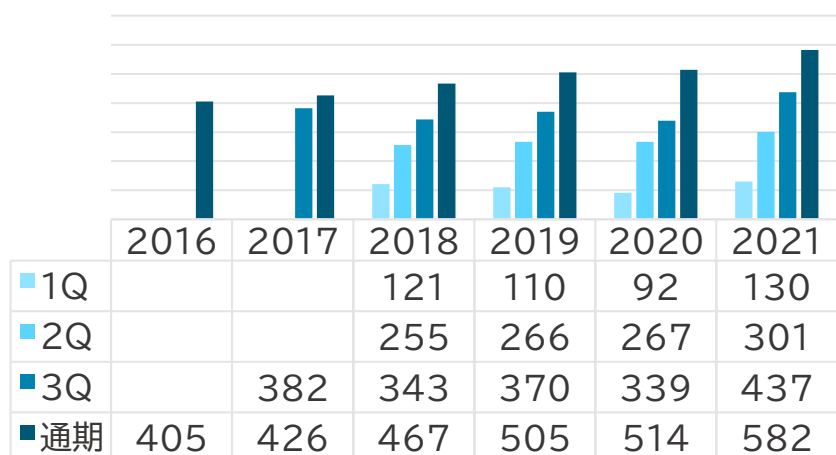
営業利益

単位:百万円



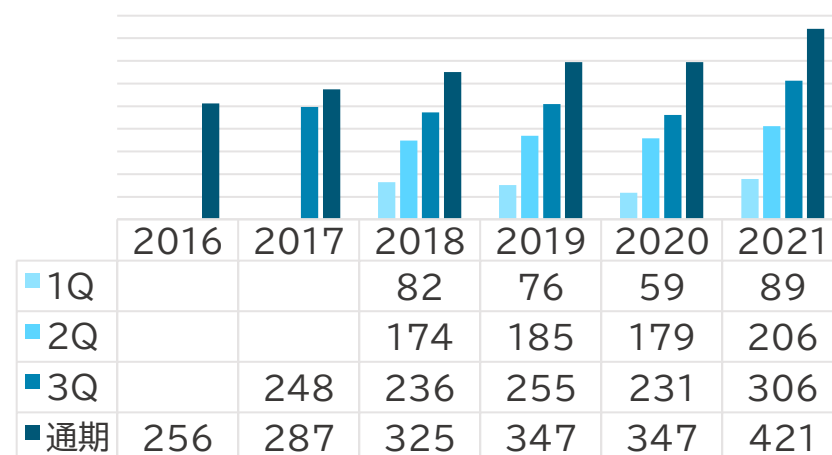
経常利益

単位:百万円



当期純利益

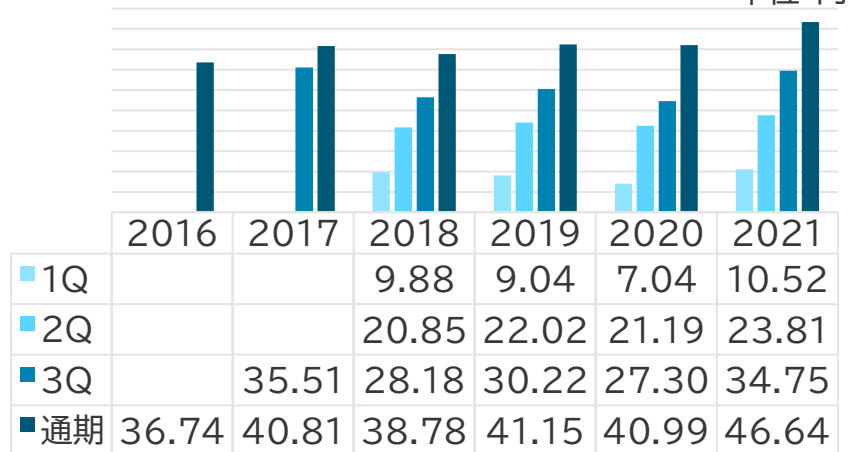
単位:百万円



4.5) 業績推移②

1株当たり当期純利益

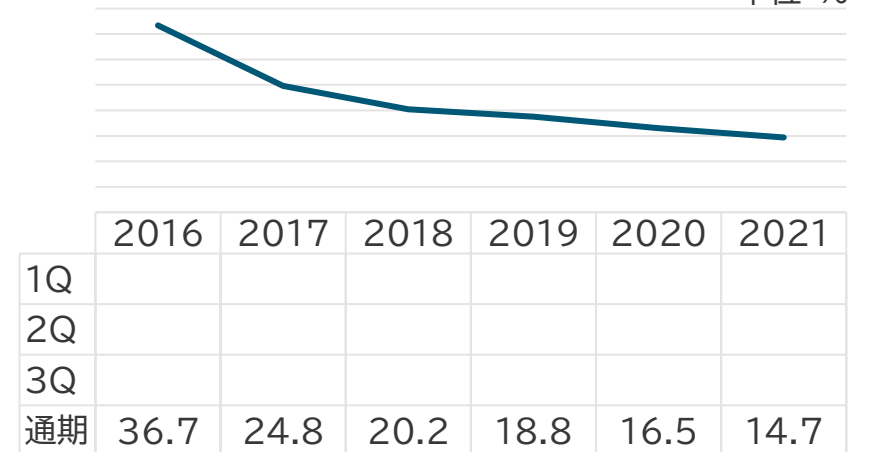
単位:円



■2017年5月12日付の100分割、2018年4月1日付の2分割、2019年1月1日付の2分割調整後の数値

自己資本当期純利益率

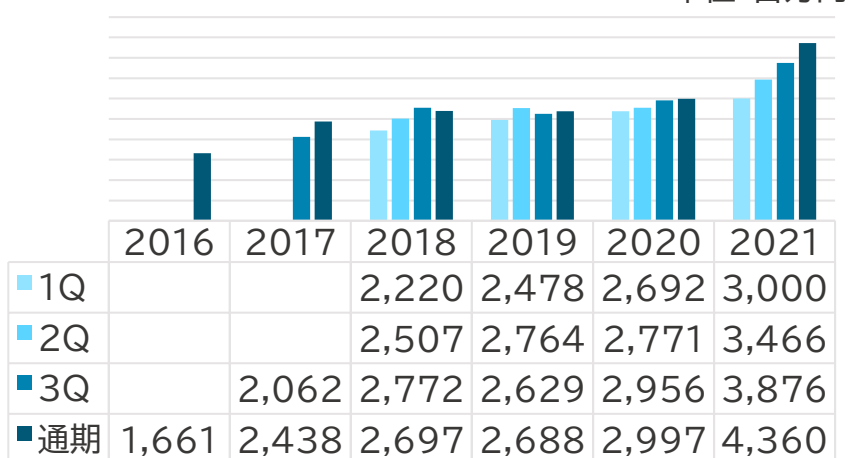
単位:%



■本指標は通期ごとに更新

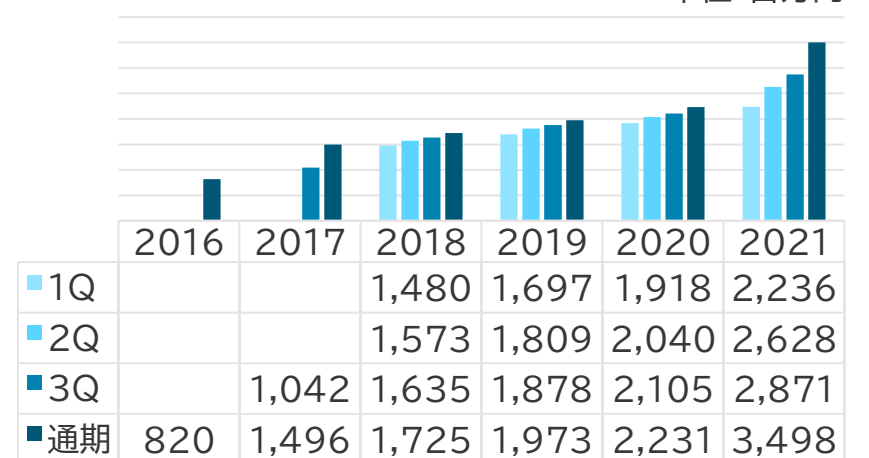
総資産

単位:百万円



純資産

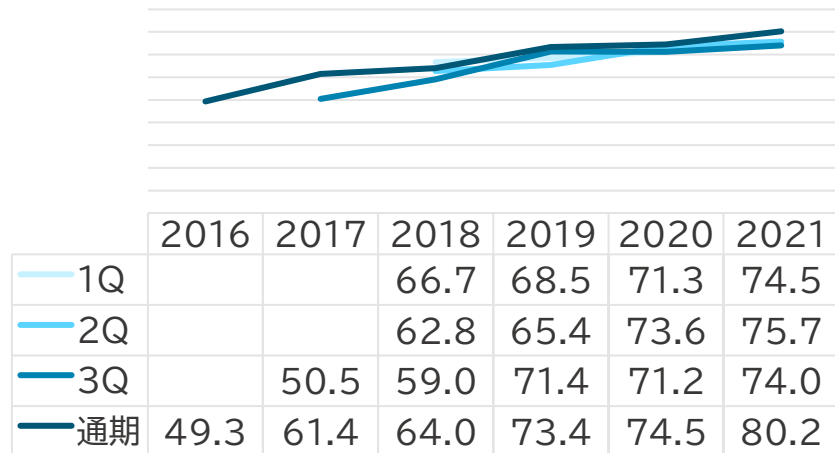
単位:百万円



4.5) 業績推移③

自己資本比率

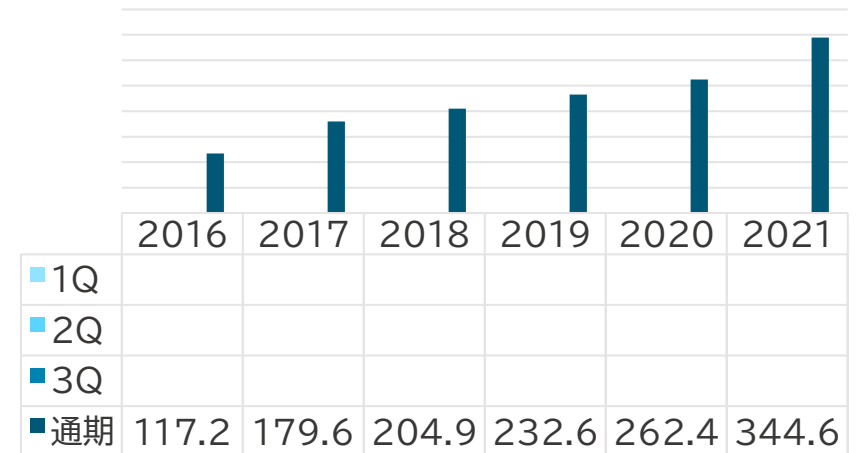
単位:%



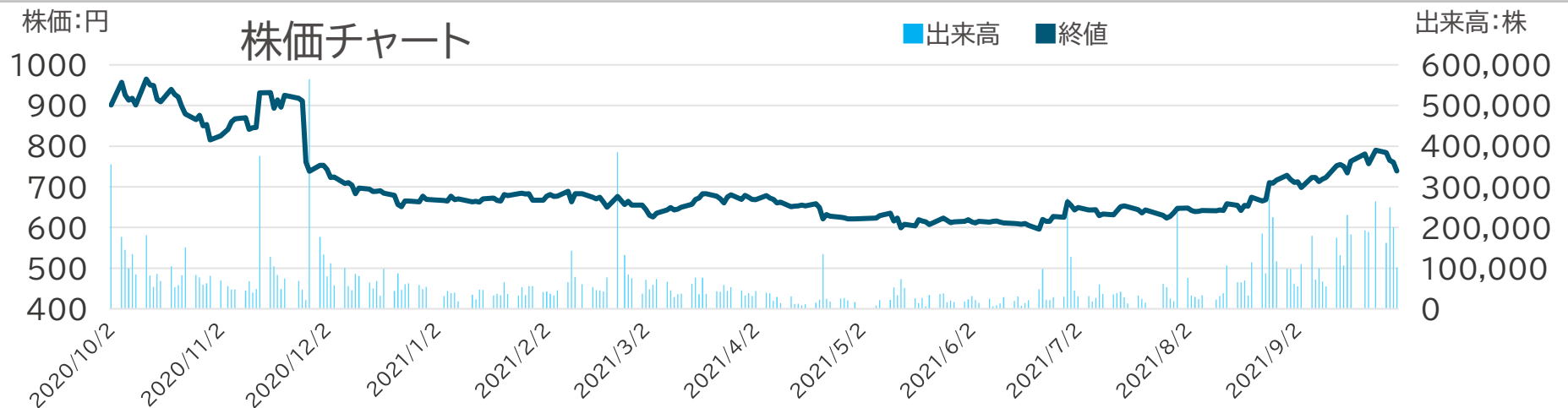
- 第2四半期(2Q)は、第1四半期から第2四半期までの累計情報
- 第3四半期(3Q)は、第1四半期から第3四半期までの累計情報

1株当たり純資産

単位:円



- 2017年5月12日付の100分割、2018年4月1日付の2分割、2019年1月1日付の2分割調整後の数値
- 本指標は通期ごとに更新





NeedsWell
Try & Innovation

- 本資料に記載されている将来の業績に関する予想、計画、戦略などは、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。
- 実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

株式会社ニーズウェル CC室 e-mail:ir-contact@needswell.com